

会議記録（要点筆記）

委員会名		秦野市子ども・子育て会議(平成27年度 第1回)	
日時	平成27年8月28日（金） 18：30～19：15	場所	秦野市役所3階 3A会議室
出席者	<p>[委員氏名] [所属団体等]</p> <p>小林 正稔 : 神奈川県立保健福祉大学教授（会長）</p> <p>石橋 由里子 : 秦野市幼稚園PTA連絡協議会</p> <p>大澤 一之 : 民間幼稚園長</p> <p>草山 充 : 秦野市民間保育園園長会</p> <p>串田 祐基 : 地域型保育事業者</p> <p>小泉 学 : 秦野市PTA連絡協議会</p> <p>清水 幸代 : 市民委員</p> <p>妹尾 洋之 : 神奈川県平塚児童相談所子ども相談課長</p> <p>高野 恵美 : 秦野市民間保育園主任の会</p> <p>内藤 剛彦 : 秦野市医師会</p> <p>矢野 博子 : 市民委員</p>		
欠席者	<p>[委員氏名] [所属団体等]</p> <p>小林 徳博 : 二宮町教育委員、元・小学校長（副会長）</p> <p>今井 啓子 : 元・株式会社日立製作所</p> <p>佐々木 陽一 : 株式会社PHP研究所 公共経営支援センター コンサルタント</p> <p>府川 優樹 : 民間学童保育施設長</p>		
[事務局]		[庶務担当（こども健康部子育て支援課）]	
こども健康部長		課長代理	
こども健康部 子育て支援課長		主事	
こども健康部 保育こども園課長			
教育部 教育総務課長			
議事内容	<p>1 開会</p> <p>2 委員委嘱</p> <p>3 委員紹介・事務局職員紹介</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 利用定員について</p> <p>(2) 本市の待機児童数について</p> <p>(3) その他</p> <p>5 閉会</p>		

配付資料	次第・委員名簿 資料1-1：あおば保育園施設概要 資料1-2：あおば保育園位置図 資料1-3：あおば保育園改修工事平面図 資料1-4：利用定員協議様式（新規確認施設） 資料2：平成27年4月1日現在の保育所等利用待機児童数について
------	--

[1 開会]

[2 委員委嘱]

- 小泉 学：秦野市PTA連絡協議会
- 高野 恵美：秦野市民間保育園主任の会

[3 委員紹介・事務局職員紹介]

[4 議事]

(1) 利用定員について

○事務局

（あおば保育園の施設概要及び利用定員等について、「資料1-1」～「資料1-4」に基づいて説明）

○委員

保育所の乳児室及びほふく室の有効面積については、乳児又は2歳に満たない幼児1人につき3.3平方メートル以上とすることにより、良質な保育環境の確保が図れると考えており、この観点から、神奈川県保育所設置認可に係る審査基準には疑義を持っている。秦野市による利用定員の設定に当たっては、このことを踏まえて実施していただきたい。

○事務局

審査基準は良質な保育環境の確保を目的として定められたものであり、認可定員は当該基準を踏まえて設定されたものです。利用定員は認可定員に一致させることが基本であること、また、利用定員を可能な限り増やすことで待機児童対策を推進したいことから、認可定員と同数の利用定員を設定したいと考えています。

○委員

当該施設の有効面積は、問題がないということでよいか。

○事務局

有効面積については、審査基準上問題がないことを神奈川県に確認済みです。

○委員

当該施設はシャワー室がないようであるが、必要ないのか。

○事務局

審査基準には、沐浴室についての規定は設けられていないため、必須ではありません。

○会長

当会議としては、「利用定員を認可定員に一致させることについては異議なし」とするものの、「行政は有効面積に係る審査基準の見直しを図るなど、保育環境のさらなる向上に努めること」を付帯意見とすることでいかがか。

○委員

（異議なし）

(2) 本市の待機児童数について

○事務局

（待機児童数の内訳、増加要因及び今後の対応について、「資料2」に基づいて説明）

○委員

待機児童対策等の子育て支援については、秦野市として独自の施策を実施していくべきであり、その際には、良質な保育環境の確保を念頭に置くことが重要であると考える。今後の当会議でも提案していきたい。

○会長

私は秦野市の教育政策に長く関わってきた経験があるが、良いコンセプトを持って立案し、実践していたと感じている。子育て支援政策においても、同様に努めていただきたい。

(3) その他

○事務局

次の開催日程については未定ですが、案件が生じた際に調整させていただきます。

[5 閉会]